

年 組 名 前 :

県内 困窮世帯5割 食事回数減

認定NPO法人フードバンク山梨（米山けい子理事長）が食料支援を行った世帯を対象にしたアンケートで、食品や電気料金の値上げで生活が苦しくなり、食事回数を減らした世帯が約5割に上り、食事の量を減らすとした世帯が6割を超えました。物の値段が上がり節約のために食費を削ると回答した人は全体の95%。「節約のために食事の回数を減らすことはあるか」との質問



には15%が「かなりある」と回答。「ややある」の34%と合わせると、49%が食事回数を減らさざるを得ない状況でした。1カ月の食費にかかる金額は33%が「月3万円未満」。

節約のために食事の回数を減らすことはあるか



生活困窮世帯に送る食品などの箱詰め作業

一人当たりの食費に置き換えると1日333円で、去年の11月時点の384円と比べ、約1割減りました。

(2023年6月1日付 山梨日日新聞 週刊こびっと10面)

問1 認定NPO法人が、食料支援を行った世帯を対象としたアンケート結果が、発表されました。

「食事回数を減らした世帯」と「食事の量を減らす世帯」と回答した割合を教えてください。

・食事回数を減らした世帯: ..... 割      ・食事の量を減らす世帯: ..... 割

問2 このような割合となった理由を教えてください。

.....

問3 一人当たりの1日の食費は、去年の11月と比較すると、何円減額となりましたか。

..... 円